

事務事業名	担い手育成総合支援事業		☐ 実施計画上の主要事業	
政策名	総合計画 03	働く人々が輝き続けるまちづくり	所属部	産業振興部
施策名	11	農業の振興	所属係	農業振興班
基本事業名	31	後継者の育成	担当者名	平田洋介
予算科目	会計 01	款 06	項 01	目 08
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 平成18 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)		法令根拠	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)			全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)	
経営改善に取り組む農業担い手に対する支援を行う事業 ①農家から経営改善計画書を受付し、②協議会での計画書の審査 ③認定書の交付(認定農家の認定) ④認定農業者へ計画書達成のための補助事業等の周知・指導			総投入量	事業費
			財源内訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源
			事業費計 (A)	0
			人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B)
			トータルコスト(A)+(B)	0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 手段(主な活動)

17年度実績(17年度に行った主な活動)

なし

18年度計画(18年度に計画している主な活動)

事務事業概要と同じ

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

市内農家(一種・専業)

③ 意図(この事業によって、対象をどうすべきなのか)

認定農業者になり経営改善をしてもらう

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

後継者が確保されている

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない

名称 単位

ア 支援回数 回

イ 指導回数 回

ウ

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない

名称 単位

ア 農家戸数 戸

イ

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない

名称 単位

ア 認定農家数 人

イ 経営改善をした割合 %

ウ

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない

名称 単位

ア 認定農家数/農業従事者数 %

イ

ウ

(2) 総事業費・指標等の推移

	単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込み)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22 年度 (最終目標)
投入量	財源内訳	国庫支出金 千円						
		都道府県支出金 千円						
		地方債 千円						
		その他 千円						
		一般財源 千円		48	142	142	142	142
		事業費計 (A) 千円	0	0	48	142	142	142
	人件費	正規職員従事人数 人		2	2	2	2	2
		延べ業務時間 時間		100	150	150	150	150
		人件費計 (B) 千円	0	0	250	375	375	375
		トータルコスト(A)+(B) 千円	0	0	298	517	517	517
活動指標	ア 回							
	イ 回							
	ウ							
対象指標	ア 戸							
	イ							
	ウ							
成果指標	ア 人							
	イ %							
	ウ							
上位成果指標	ア %							
	イ							
	ウ							

合志市

事務事業名	担い手育成総合支援事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
農業経営に関する各種施策を集中的・重点的に実施するため開始された

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 農業経営の改善は、農業所得向上につながり、その結果、農業の活性化に結びつく
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 担い手育成確保は農業振興のため必要不可欠であり、行政としても食料需給・確保のため必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 事業の対象は、市の健全な農家であり、支援を行うことは、市の産業発展を図るため適正である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 今年度からの事業であり、定期的な学習会の実施及び支援事業等の周知により成果向上を目指す。
	⑤ 廃止・休止や活動量削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量削減した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 担い手不足であるため、本事業を廃止、休止することは、担い手の確保が困難となり、農業の衰退につながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒【具体的な手段、事務事業】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業がない
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 協議会への活動助成金は既に減額しており、その他の事業費は最低限必要な報酬等である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 正職員以外での委託等、検討の余地はある。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 認定農業者協議会等、組織的な事業、活動を行っている。

事務事業名	担い手育成総合支援事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

事業の周知等、組織の充実を図ること。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

各農家との意見交換会、学習会等の開催による意識の向上、意思の疎通を図る。

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☒ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☒ 事業のやり方改善(効率性改善) ☒ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項